

だ い ず 通 信 令和5年 第6号

一年間お疲れさまでした。
大豆の作柄は、平年より小粒傾向ですが、収量は多く品質は良好です。

1 気象経過と管内の農作業進捗状況

- (1) は種作業は5月末頃から始まり、天候に恵まれ作業は順調に進んだ。は種最盛期は6月3日頃であった。湿害の影響はなく、出芽は良好だった。
- (2) は種後から成熟期にかけて気温は平年を上回り、時折まとまった降雨があったものの乾燥傾向で、7月中旬から8月上旬は降水量がほとんどなかった。日照時間は平年より多かった。
- (3) 高温や乾燥による苗立率の低下や落花等の被害はみられなかった。
- (4) 管内の成熟期は概ね平年並の10月中旬で、収穫作業は10月18日から始まった。しかし、水稻やそばの収穫作業と競合したため、十和田市の刈取最盛期は11月6日(平年比6日遅)、七戸町は11月9日(平年比2日遅)となった。
- (5) 例年に比べてカメムシの被害が多く、特に子実肥大後期に被害を受けたとみられる被害粒(しわ粒)が多かった。

図-1 平均気温と降水量

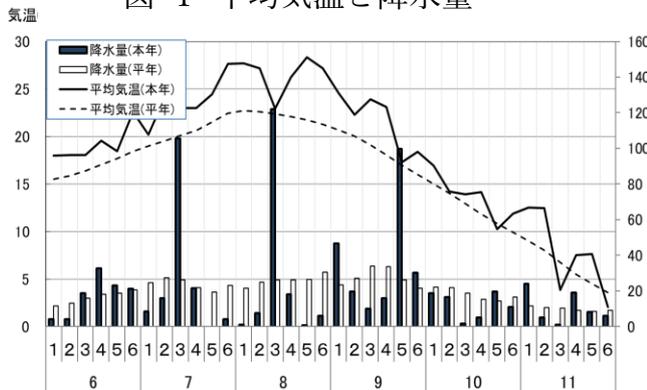
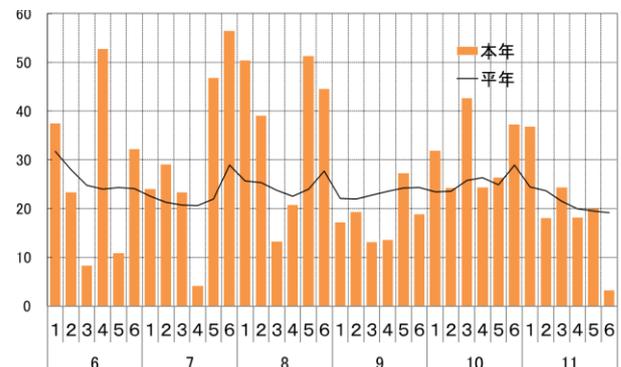


図-2 日照時間



2 カメムシ被害粒の発生

過去、上北地域で確認されたカメムシの被害粒は下図のとおりで、被害の様子からカメムシの加害時期を推定できる。

青立ち株の増加や減収に最も影響が大きいのは、子実肥大前期の被害である。子実肥大後期から黄熟期にかけて加害された場合、しわ粒(虫害粒)の発生による調整後歩留まりの低下や品質低下による落等を招く



図-3 カメムシ被害 (左から子実肥大前期、子実肥大後期、黄熟期頃)

3 県生育観測ほの生育状況

(1) 生育調査結果

は種日は平年より2日早い6月5日だった。湿害の発生は無く、出芽は良好だった。は種から開花期にかけて気温が高く、開花期は平年より8日早い7月27日だった。8月10日時点の生育は、草丈、主茎長ともに平年を上回り、ほ場の一部で倒伏がみられた。葉のしおれや落花等、干ばつの影響による被害はみられなかった。

(2) 収量調査結果

成熟期は平年より11日早い10月6日で、分枝数は平年より多く、総莢数は平年を下回った。

子実重は328kg/10aで平年より多く(平年比113%)、百粒重は32.3gで平年を下回った(平年比91%)。

検査等級は2等で、落等要因はしわ粒であった。

(2) 地区生観ほの収量

地区生育観測ほの子実重は323kg/10aで平年を上回り(平年比134%)、百粒重は34.2gで平年をやや下回った(平年比97%)。



図-4 県生育観測ほの生育(8月10日)
※は種後約65日

表-1 生育状況調査結果

地点名	年度	生育ステージ			出芽本数 (本/㎡)	成熟期		子実重 (kg/10a)	百粒重 (g)	被害粒率(%)			
		は種期	開花期	成熟期		分枝数 (本/本)	総莢数 (莢/本)			未熟粒	紫斑	虫害	その他被害粒
県生観	本年	6月5日	7月27日	10月6日	13.9	4.8	38.9	328	32.3	1.2	0.6	1.9	5.9
	平年	6月7日	8月4日	10月17日	13.8	3.3	40.0	289	35.6	-	0.4	4.9	4.1
	差・比	早2日	早8日	早11日	96	145	97	113	91	-	153	40	144
地区生観	本年	5月25日	7月24日	10月8日	16.1	3.3	36.9	323	34.2	0.5	0.8	1.1	4.4
	平年	6月1日	7月30日	10月12日	17.4	2.5	28.8	242	35.3	-	1.1	1.9	4.6
	差・比	早7日	早6日	早4日	88	131	128	134	97	-	70	57	96

※県生育観測ほの平年値は平成13～令和4年、地区生育観測ほの平年値は平成20年～令和4年の平均値。未熟粒は令和5年調査開始のため平年値なし。

4 晩播狭畦栽培の生育状況(地区生育観測ほ)

(1) 生育調査結果

は種日は平年より5日遅い6月30日だった。湿害の発生は無く、出芽は良好だった。は種後は高温、乾燥傾向で推移したが、出芽不良や初期生育の遅延は見られなかった。開花期は平年より3日早い8月7日だった。8月10日時点の生育は、草丈、主茎長ともに平年を上回った。

(2) 収量調査結果

成熟期は平年より7日早い10月12日で、分枝数、総莢数ともに平年を上回った。

子実重は326kg/10aで平年より多く(平年比123%)、百粒重は29.1gで平年を下回った(平年比88%)。

検査等級は2等で、落等要因はしわ粒であった。



図-5 晩播狭畦栽培の生育(8月4日)
※は種後約35日

表-2 生育状況調査結果(晩播狭畦栽培)

地点名	年度	生育ステージ			出芽本数 (本/㎡)	成熟期		子実重 (kg/10a)	百粒重 (g)	被害粒率(%)			
		は種期	開花期	成熟期		分枝数 (本/本)	総莢数 (莢/本)			未熟粒	紫斑	虫害	その他被害粒
地区生観 (晩播狭畦)	本年	6月30日	8月7日	10月12日	27.3	3.3	23.8	326	29.1	5.5	0.6	8.6	2.2
	平年	6月25日	8月10日	10月19日	27.6	2.2	21.5	264	32.9	-	0.4	5.7	4.6
	差・比	遅5日	早3日	早7日	99	147	111	123	88	-	147	150	48

※地区生育観測ほ(晩播狭畦栽培)の平年値は平成27年～令和4年の平均値。未熟粒は令和5年調査開始のため平年値なし。